

# 経営比較分析表

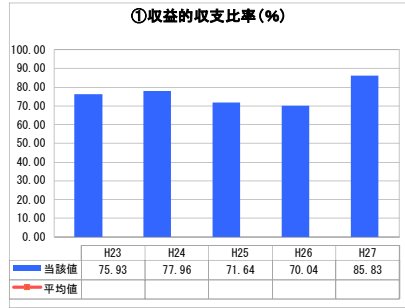
福島県 西郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	16.09	90.09	2,700

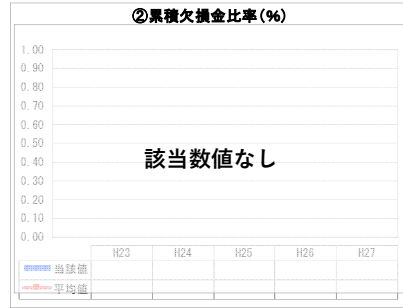
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,086	192.06	104.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,217	5.22	616.28

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

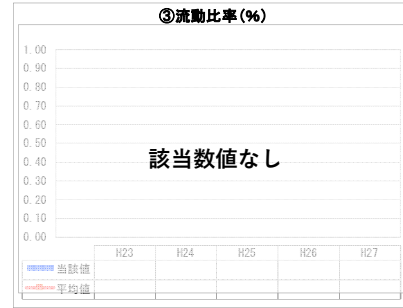
## 1. 経営の健全性・効率性



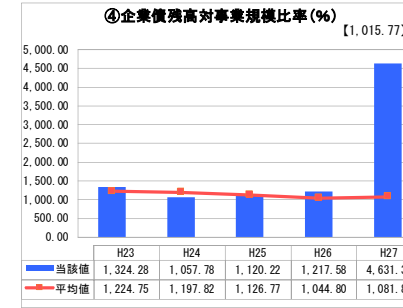
「単年度の収支」



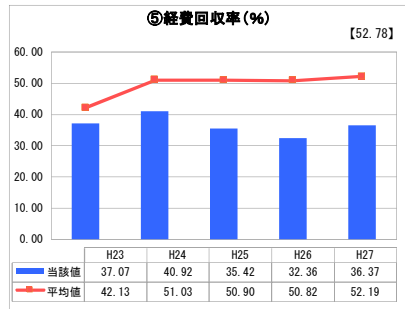
「累積欠損」



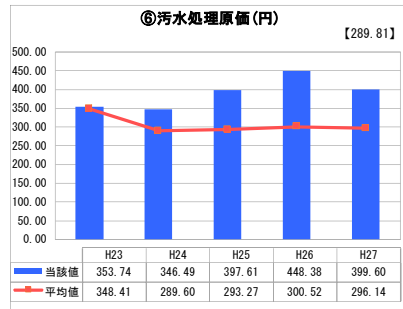
「支払能力」



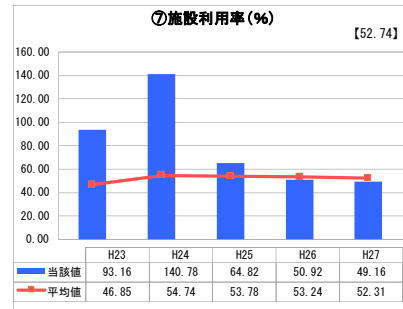
「債務残高」



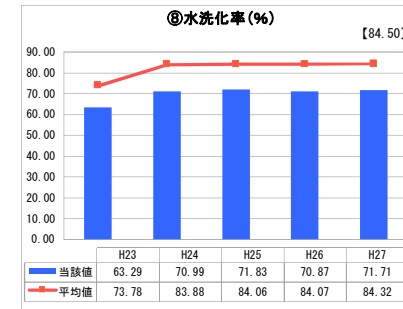
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

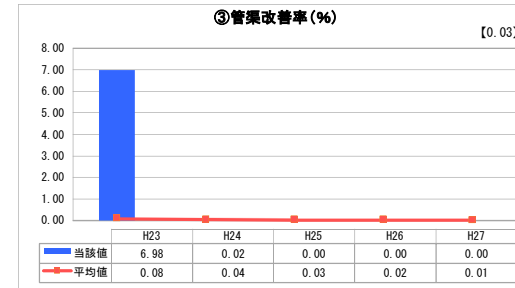
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、おおよそ70%程度で推移しているが下降気味である。  
 経費回収率及び汚水処理原価も、全体的に類似団体平均値を下回っている。  
 水洗化率も横ばいで伸び悩んでおり、やはり他団体よりも低い値である。  
 現状を打開するためにも、地元住民への働きかけ等を再度積極的に行い水洗化率を向上させ、維持管理費用の見直し等も行い、経営改善を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率に関しては、類似団体平均値もほぼ同様の値だが、平成23年の東日本震災に伴う突発的なものを除き例年ほぼ0%である。  
 平成28年度より年々増加する修繕費等対策として、処理場の機能診断事業に着手し、設備や機器等の状況確認を行っている。今後、その結果を基に村内の農業集落排水処理施設の在り方について検討した最適整備構想を策定する。  
 処理場等の大規模な修繕や改修には多額の費用がかかるため、ストックマネジメント計画を策定するとともに、機能強化事業にて老朽化する施設の修繕・改修等を計画的に行っていきたい。

### 全体総括

類似団体と比較しても、経営状況は芳しくない。財源を確保し管渠の老朽化対策に着手するためにも、接続率・経費回収率を向上させ、経営改善を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。